

ヒヤリハット勉強会

日 時 : 平成24年9月29日(土)

今回はヒヤリハットの勉強会を実施致します。

各医療機関での症例ありましたら発表をお願いします。

特に症例ないようでしたので日本医師会 患者の安全確保対策室より抜粋致しました実例を紹介させていただきます。

《実例①》

セルベックスカプセル〈テプレノン〉の処方に対してセフゾンカプセル〈セフジニル〉を調剤してしまった。

《実例②》

口腔内崩壊錠であるタケプロンOD錠〈ランソプラゾール〉を処方したところ、その他の普通錠も水なしで服用を試み、ひどい苦味のため吐き出してしまった。

《実例③》

ベイスン錠〈ボグリボース〉の副作用で便通が良くなったので、便秘で悩んでいる友人にそれを提供した。

《実例④》

朝食禁の検査に「ご飯を食べないで検査を受けて下さい」と指示したところ、患者はパンを食べて来院した。

などのような実例から、想定外のことが起こっておりますので、スタッフや患者さんへの説明が正確に伝わるよう、日頃から各医療機関でも注意してヒヤリハットをなくし心触れ合う治療を行いましょ。